

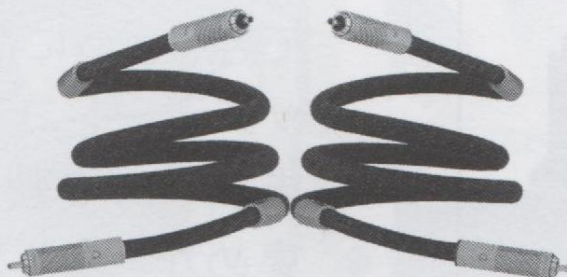


センターピンに NCF を充填した RCA インターコネクトケーブル

フルテック LineFlux NCF

1.2m ペア ¥225,170 (税込)

センターピン内部に独自の静電気対策素材NCFを充填したRCAケーブル。1.3mm α -OCC 導体単線をメイン導体に採用。



その周囲に高級ポリエステル誘電・絶縁材を配し、 α 導体編組とアルミPETテープによる二重シールドと、共振減衰材料のナノセラミック/カーボンパウダーコンパウンドを配合したPVCシース、ナイロン糸編組ジャケットを用いる。新開発のロジウムメッキプラグCF-102 NCF (R) は、チューブ状の α -OCC 一体構造導体ピンと α 銅合金ボディ、NCF+銀メッキ3kカーボンファイバー層を加えた非磁性ステンレスハウジングで構成される。導体は、ネジどめ結線方式を採用。

フルテック Lineflux NCF (RCA)

α -OCC線材2芯シールド
RCAケーブル

税込価格 ¥225,170 1.2m ペア



RCAプラグに新開発のCF-102 NCFを採用。プラグの後ろにステンレス筒を取り付けてケーブル表面の振動をダンブしている

ケーブル径：約13mm

CF-102 NCF

寸法： ϕ 14×54Dmm

H1.5およびH2六角ドライバー付属

税込価格 ¥21,120

資料請求先

フルテック株式会社 MJ12係

〒142-0041 東京都品川区戸越3-9-1 フルテックビル

☎03-6451-3941 (代) <https://www.furutech.com/ja/>

ロングラン製品となっているフルテックのRCAラインケーブルのフラグシップモデルLinefluxが、今回アップグレードされた。本製品は同社の α -OCC芯線（ ϕ 1.3mm単線。絶縁体はハイグレードポリエチレン）を2本使用することが特徴。これを介在綿で包み、その上を2層シールドし、さらに共振減衰、微細振動低減のためにナノセラミック／カーボンパウダーコンパウンド配合のPVCシースで覆った2芯シールド線である。通常は、この仕様で十分と思われるが、さらにこの上をナイロン製メッシュ状のスリーブで覆っている。この仕様では、数値は非公開となっているが、静電容量が低減でき、外来電磁波や振動の影響を受けにくく、同社の高品位コネクターとともに、ワイドレンジかつ弱音を引き立てる高解像度な音質が得られ、同時に空間描写性を高めていることが特徴であった。

今回はこうした特徴をさらに進化させるために、静電気（帯電）と振動を低減させる同社のNCF素材をコネクターに採用した。その箇所は、中空にしたロジウムメッキ α -OCCホットピン内部と、銅合金制振材リングを取り付けた絶縁部である。コールド側はロジウムメッキ α 銅合金で、さらにコネクター本体をカバーする非磁性ステンレス材のハウジングの外周を、NCFと銀メッキの3Kカーボンファイバーを使用し

リア硬質コートで仕上げた。実に精密感までも感じさせるほどの、徹底した静電気と振動低減仕様へと進化したのである。

なお導体線はハンダ付けではなく、ネジどめする機構で、前製品と同様に採用している。RCAコネクター単品のCF-102 NCFも発売されることになった。

さて、その音質であるが、前製品と比較すると、明らかに聴感上の解像度が向上し、あたかもノイズフロアが下がったかのように微細信号が浮き上がった印象を受けた。再生音源の繊細さや柔らかさも引き出され、たとえば、トランペットやバスドラムの余韻が豊富に聴こえてくるようになった。弦楽曲の素早く高い音階では、比較するなら前モデルはエッジがシャープであるが、本製品はシャープさが抑えられ、リアリティが増した印象を受け、中低音では音数が多く、響きの木質感が増した印象も受けた。また、導体が単線であるためなのか、音の立ち上がりも実に俊敏で、接続する機器自体が持つ音色に極端な色付けを加えていないことも特徴と言えるであろう。（角田郁雄）